

KOUNAN SMILE vol.22

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

2018.7

7月28日
大掃除/慰労会
お昼のお弁当は
会社で用意します

6月8日～10日
社員旅行に行ってきました
リップンチェンシンと共に

別紙に台湾旅行の写真を
掲載しました。
“安美70選”を
お楽しみ下さい♪



今回の社員旅行が台湾になったこと、江南ラミネートにとって何か大きな意味があったように思います。というか大きな意味にしていきたいですね。中村文昭さんのCDにこのタイミングで出会えたことも「神がかり」だったように思います。

日本精神—台湾語でリップンチェンシン—台湾に行く人には中村文昭さんのCDを聴いてもらったのでよ〜くわかると思いますが、行かない人は、すみません、自発的に借りに来てください(笑)社長の席の後の棚に4枚そろえていますので。

リップンチェンシンとは、「清潔さ」「公正さ」「勤勉さ」「責任感」「規律遵守」「信頼」「滅私奉公」などを示す言葉で、日本が台湾を統治していた時代に、台湾にやってきた日本人が持っていた精神のことです。台湾の方は、このリップンチェンシンという言葉、日本人の特徴の美德として今でも使っているそうです。

今の日本人にこのリップンチェンシンはあるのでしょうか…。「自分さえ良ければ」の個人主義、利己主義、権利主義の流れになっている気がします。でも東北大地震で見せた日本人の姿～食糧不足の中、略奪など起こらずきちんと列に並んで順番を待つ姿、自分より先に子供やお年寄りを優先させる姿など～は世界ですごく賞賛されました。こういう姿こそリップンチェンシンなのだと思います。でも私たち日本人にとっては当たり前行動というか、普通のコトかな～なんて思います。それが世界からこんなに賞賛されるということに



六氏先生のお墓がある
芝山公園を訪れました

「求め合うより与え合う」の日台友好Tシャツ 2日目は全員着用して観光

旅行の企画からパスポートの代理申請まで献身的にお世話をしてくれた」TBの佐藤さんと台湾で人気ナンバーワンのガイド・テイさん。2人のおかげで楽しい充実した旅行になりましたね。感謝感謝です！また旅行委員のみなさんも何度も打ち合わせしたり、宴会を盛り上げてくれたり、たくさんの思い出を作ってくれました。本当にありがとうございました！

逆に驚かされました。そして今もなおこのリップンチェンシンのDNAが間違いなく私たちに流れていると確信しました。

私たちは、この日本人が持っているリップンチェンシンを誇りに思わなければいけないと思います。日本人であることにどこか否定的なイメージを持っている人も少なくないと思います。欧米はカッコイイなみたい。日本人は日本のことを知らなさすぎなのかもしれません。そういう私も。アインシュタイン、エジソン、ヘレンケラー…世界の偉人たちが日本に対して様々な賞賛をしています。なのに日本人である私たちが誇りに思わないなんて、もったいないし、悲しいですよ。日本は世界に誇れる国民性を持っているのに！

誇りに思うことで、行動が変わっていくと思います。例えば今まで何気なくタバコのポイ捨てをしていた人も「これはリップンチェンシンに反していないか」「日本人として恥ずかしくないか」「日本人である自分がそんなことはできない」と。

私は江南ラミネートを「リップンチェンシンにあふれる会社」にしたいです。江南ラミネートという会社がリップンチェンシンにあふれる組織になり、江南ラミネートの社員である私たち自身が、江南ラミネートの社員であることを誇りに思い「江南ラミネートの社員なんだから、こんな恥ずかしいことはできない」と仕事でも家庭でも、普段の生活でも、リップンチェンシンな行動をしていこうになればいいなと思います。そして周りから愛される存在となり、尊敬される存在となり、地域を引っ張っていける会社になれるとすばらしいですね。業績だけでなく人間性で地域をリードし、地域になくはならない会社になる！こんな会社、みんなでめざしていけたら最高ですよ！

先日の木鶏会で適度なプレッシャーが生産性を上げるという話がありましたね。【8×8=64(ハハハの64)と4×9=36(シクシクの36)】の話。そのプレッシャーが、社長や上司が見てるからとか、誰かに怒られるからなどの外的プレッシャーでなく、自分の中にあるリップンチェンシン(責任感だったり、利他の精神だったり)がプレッシャーとなり、自分自身で行動を高めるていけるようになりたいものですね。

by きよこ

堤博俊 7月4日 39歳	神野有貴 7月8日 44歳	新田有里 7月9日 25歳
保土立樹 7月10日 23歳	協勝 7月11日 45歳	瀧亮平 7月29日 23歳

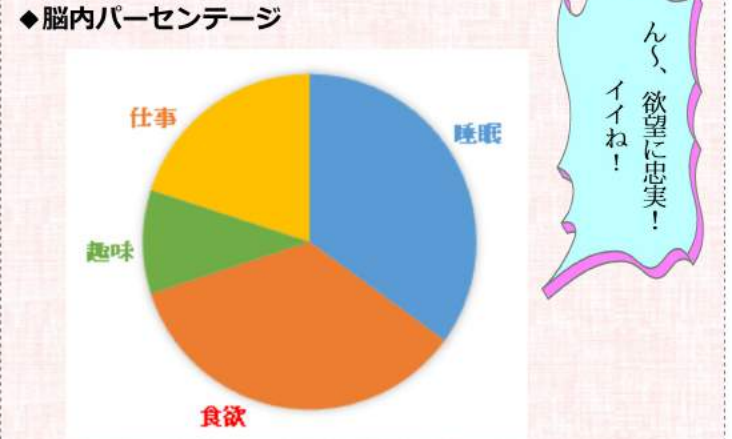
毎月1人をランダムにピックアップ！
仲間のことをもっと知ろう！というコーナー



今月の主役は森亮大さんです。皆さんの知らないアレコレ、調査してきました！森さんの性格はドジで短気であがり症です！なんと自己評価の低さ…！もっと良い所に目を向けましょう～！自己への美点凝視です！森さんの趣味はYouTubeを見ることです。YouTubeって関連動画を辿っていくと永遠見続けることができますね！休日は、ゴロゴロしたりスロットしたりデートしたりしているそうです。お気に入りの音楽はHey!Say!JUMPで、これは彼女の影響だそうですね！そんな森さんの好きなものは肉と中華と睡眠、苦手なものはトマトと人が多い所です。

◆みんなの知らない森さんの秘密を聞いてみました！
実は森さんはお腹が弱いそうです！台湾旅行に参加していたら、もしかしたら腹痛で苦しんでいたかもしれませんね(笑)そしてもう一つ弱いところがあるそうです。それは「メンタル」です。ただ「先輩に褒められた時はガッツポーズしたくなるほど嬉しい」そうなので皆さん積極的に褒めていきましょう。

◆あなたの10年前
10年前の森さんは中学生で、サッカー部所属だったそうです。お～若い！(笑)



◆前回の主役(森田さん)からの質問
Q、今欲しい車は？
A、キャンピングカーとかいいですね(笑)
本気？(笑)

以上、森さんの調査結果でした！次は誰が選ばれるか、お楽しみに♪

「カツ社社長がゆく」の巻

【金生川ラバース出前授業】
6月6日、上分小学校の5年生の授業に行ってきました。自然の美しさ、地元の誇りの話に加えて、今回は「ありがとう」の反対は何でしょうという話を付け加えました。みなさん、わかりますよね？(笑)

★中川文晶さん、6月30日挙式★

ご結婚おめでとうございます！挙式前に左手を負傷するというアクシデントともありましたが、指輪も交換でき、無事に誓いを立てることができました。新婚旅行は7月中旬にハワイへ！いいですね。みんなから愛され応援される夫婦になって下さいね♪

今年の夏は麦茶を沸かさずに、2Lのペットボトルを用意しようと思っています。「会社が買ってくれるから持たなくていいわ」ではなく、自分の水分補給は基本的には自分で水筒などを用意し、足りない分を会社のお茶で補給するという形で利用していただければと思います。冷蔵庫への補充の仕方などのやり方は導入してみたいと思いますので、ご協力お願いします。みながリップンチェンシンな行動をしていただければ、うまくいくはずですよ！

六月二十一日堤君、横山君、健吾君、剛広君、鎌倉君と一緒に大王製紙株式会社の工場見学へ行ってきました。大王製紙の戒さん橋本さんに企画していただき、昨年に続いて2回目となります。まず最初に映像で工場全体の説明を受けた後、紙の資料室で大王製紙で製造されている紙や製品について詳しく説明を受けました。そしてN5N6、N10マシンを見学したあと、ダイオミルサポーター株式会社を見学しました。包装の際には江南ラミネートで加工したライナーラミやクラフトラミが包装紙として使われており、ほぼ無人のラインで機械が自動で包装をしていました。「百聞は一見にしかず」と言いますが、実際にこの現場を見るとラミネート製品に不良があったらはいけません。包装不良につながるカールもあってはいけません。と十分に分かったと思います。大王製紙の皆さんがパルプをつくり大きなマシンで抄紙しスリットしたりカットしたりして仕上げた製品を最後に包む包装紙を我々は任せていただいております。現場の方には「江南ラミネートのクラフトラミはとても使いやすい」と言っていたのですが、とても重要な部分を任せていただいていたという誇りと責任をしっかりと自覚して、今後も引き続きより良い品質のラミネート製品を加工していただくことを期待しています。最後に質疑応答をしましたが、みんな質問したり意見交換ができており、一緒によりよい紙製品をつくっていくのだからという意識が見えてとても頼もしく思いました。

毎年大王製紙の新社員の皆さんには江南ラミネートを見学してもらっていますし、私たちも大王製紙さんを見学させていただいており、このような交流を今後も継続してよい関係を築いていけたらよいと思います。

紙産業は印刷用紙がデジタル媒体に変わって印刷用紙の生産量は毎年減少していますが、江南ラミネートが得意としている包装用紙は伸びている分野になります。これからも『紙のまち四国中央市』の紙産業を活性化させるべく、私たちの得意な包装紙を伸ばし紙加工やラミネート加工で付加価値をつけることで紙産業に貢献していきたいと思っています。最近いろんな工場を見学するたびに無化されている部分が多くなってきています。人工知能の開発が進んでくると現在人間が行っている仕事の51%が機械や人工知能に置き換わるといわれています。何も考えないで置いている仕事は単なる作業で、そんな作業は確実に機械に置き換わります。あと10～20年後にはそんな世界がやってきます。『因循姑息』という言葉があります。時代はどんどん変わっているのに変化に対応せずに今までと同じやり方、考え方を続けていくのは破滅に向かっていると自覚し、考え方を身に残すようにしていくためには一人ひとりが人間力を身につけよ仕事をして、お客さんから江南ラミネートじゃなきゃダメだと言われるようにならないといけないと痛感しました。

克晴

--	--	--	--	--	--	--	--